

2025年2月7日
日本生命保険相互会社

CDP2024 気候変動において最高評価となる「Aリスト企業」に初選定



日本生命保険相互会社（社長：清水 博、以下「当社」）は、国際的な非営利団体 CDP にて行われる気候変動分野の調査において、最高評価である「Aリスト企業」に初めて選定されました。

CDP とは、「人々と地球にとって、健全で豊かな経済を保つ」ことを目的に活動する国際的な環境非営利団体であり、毎年、企業の環境パフォーマンスを評価し、その結果を「A」から「D」までのグレードで発表します。2024 年度は、全世界で 24,800 社、日本においては 2,100 社以上が情報開示を行っています。

当社グループは、“豊かな地球を未来につなぐ”ことをサステナビリティ重要課題の 1 つに掲げ、事業領域・資産運用領域の双方で、地球環境問題への対応に取り組んでいます。

特に、気候変動問題は喫緊の課題として、両領域で 2050 年度ネットゼロを目標に掲げ、削減目標および 2030 年度の中間目標を設定し、取り組みを進めています。

事業領域では、EV 車の導入・再生可能エネルギーの導入やオフサイトコーポレート PPA・木造の環境配慮型営業拠点の建設・LED 化・紙使用量の削減等を行っています。資産運用領域では、「気候変動」を当社責任投融資のサステナビリティ重点取組テーマの 1 つに設定し、投融資と対話を軸に、投融資先企業の ESG 取組を後押ししています。

今後も、脱炭素社会の実現に向けて、グループ各社やビジネスパートナーとともに、積極的に各種取組を推進していくことで、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現に、より一層貢献してまいります。

以上

2024-3207G 広報部